

助教

藤本 奈緒子

■ 学歴

1. 2017年 産業医科大学大学院医学研究科看護学専攻コミュニティ看護学修士課程 修了

■ 学位

1. 2017年 看護学修士

■ 研究分野

1. 在宅看護論
2. 小児看護学
- 3.

■ 研究キーワード

1. 在宅看護
2. 看護基礎教育
3. 地域包括ケアシステム

■ 研究課題

1. 看護基礎教育における医療的ケア児への地域包括ケアに関する教育内容を小児看護学実習における学生の学びや、重度心身障がい児のケアにあたる施設の職員からのインタビュー等により検討する。
- 2.

■ 担当授業科目

1. 小児看護学実習（通年） 必須
2. 小児看護学演習（前期） 必須
3. 小児看護学方法論（後期） 必須
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|------------------|
| 1. | 授業科目名【 小児看護学実習 】 |
|----|------------------|

	<p>子どもの表情や状態の変化から様々なサインを肌で受け取り、子供の置かれている状況や環境を子供の立場になって体験する貴重な機会となる。限られた実習時間の中で学びを深めるには、学生の体験を増やすように臨床と調整し、ロールモデルとなる指導者やスタッフのケアの場面を教材化することが重要であると考え。学生対応では成人教育であるため、一方的な指導とならないよう学生自らが能動的に思考し学修を深められる発問を工夫した。</p>
2.	<p>授業科目名【 小児看護学演習 】</p> <p>典型的な成長発達を知識として理解していることを確認し、演習では学内で学んだ理論を根拠としながらも、対象個々の成長発達の過程に注目するように促した。対象の周囲の人々の関わり方が与える影響に気づけるように、学生の疑問や不安を表出できる態度で接することを配慮した。また、グループダイナミクスを考慮しグループワークが活発に進むように発問を工夫した。</p>
3.	<p>授業科目名【 小児看護方法論 】</p> <p>小児の特徴をイメージ化しやすいように動画を活用したり、地域の実例を示したりした。教育内容が理解しやすいように目標を提示し、授業展開を短く集中できるように工夫を行った。</p>
4.	<p>授業科目名【 】</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1995年 4月～現在に至る	日本看護協会	
2.	2014年 4月～現在に至る	日本看護福祉学会会員	
3.	2015年 12月～現在に至る	日本在宅ケア学会会員	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					

1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任期 期間等	会議・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.	2023年4月～3月	3年生アドバイザー	
2.			
3.			